

岡山学院大学・岡山短期大学 平成 28 年度 FD・SD ワークショップ実施報告



日 時： 平成 28 年 12 月 26 日（月） 9：10～15：00
 場 所： 岡山学院大学・岡山短期大学 情報処理教育センター D302
 評 価 員： 九州情報大学・山口短期大学 麻生隆史 理事長・学長

時 間	内 容
9：10～10：10	岡山短期大学幼児教育学科 報告 平成 28 年度は、1 本学科の将来像と展望、2 本学におけるエンロールメント・サポート、3 学生支援の取組“退学者をゼロにしよう”の取組、4 授業参観による改善の取組、5 授業アンケートの改善に向けた協議、6 「就職先訪問」および「学習成果に関するアンケート調査」から得られた課題と改善策について報告した。（15 分の質疑応答含む）（質疑応答後 5 分休憩）
10：20～11：20	岡山学院大学人間生活学部食物栄養学科 報告 平成 28 年度の食物栄養学科の FD 報告は、食物栄養学科の FD 報告は、1. 授業改善 C&A シート、2. 2 年生の就学状況と対応について、3. 栄養長寿教室および地域訪問栄養長寿教室の取組、4. 就業状況調査アンケート結果に基づく在学生への対応について報告した。 （15 分の質疑応答含む）（質疑応答後 5 分休憩）
11：30～12：15	岡山学院大学・岡山短期大学事務部 報告 平成 28 年度の事務部は、大学・短期大学の入試広報の今後のあり方について、日本私立短期大学協会主催の「私立短大入試広報担当者研修会」への参加した結果、研修会で明らかになった大学・短期大学の入試広報の問題点をあげ、岡山学院大学・岡山短期大学の入試広報の今後のあり方について報告した。（15 分の質疑応答含む）
12：20～13：20	昼休憩
13：30～14：30	講演：私立大学等の振興に関する動向について 講師：九州情報大学・山口短期大学 理事長・学長 麻生隆史 先生 平成 17 年以降の高等教育の動向について年度を追って説明を受けた。続けて、我が国における諸情勢の変化、短期大学の現状と求められる役割、今後の各高等教育機関の役割・機能の強化など、文部科学省で進行している中央教育審議会の進捗状況を踏まえた分かり易い説明を受けた。

14：30～14：45	<p>講演に対する質疑応答</p> <p>「経常費補助金はもともと 5 割が目安であったものであるが、平成 27 年度は 10%を割ったということであるが、50%は無理なのか？」の質問に対して、大変難しい状況である旨応答された。</p>
14：45～15：00	<p>総括（学長 原田博史）</p> <p>平成28年度は学長自身が繁忙を極めたことから、特にSDの活動が滞ってしまった。</p> <p>平成29年度から大学設置基準及び短期大学設置基準が、次のように一部改正されるので、次年度はしっかりと取り組んでいくことを総括した。</p> <p>大学設置基準</p> <p>大学は、当該大学の教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るため、その職員に必要な知識及び技能を習得させ、並びにその能力及び資質を向上させるための研修（第25条の3に規定するものを除く。）の機会を設けることその他必要な取組を行うものとする。こと。（第42条の3関係）</p> <p>短期学設置基準</p> <p>短期大学は、当該短期大学の教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るため、その職員に必要な知識及び技能を習得させ、並びにその能力及び資質を向上させるための研修（第11条の3に規定するものを除く。）の機会を設けることその他必要な取組を行うものとする。こと。（第35条の3関係）</p> <p>対象となる職員について</p> <p>「職員」には、事務職員のほか、教授等の教員や学長等の大学執行部、技術職員等も含まれること。</p> <p>「機会を設けること」について</p> <p>(1) 個々の職員全てに対して一律に研修の機会を設けることを義務付ける趣旨ではなく、SDの具体的な対象や内容、形態等については、各大学等において、その特性や実態を踏まえ、各職員のキャリアパスも見据えつつ、計画的・組織的に判断されるべきこと。</p> <p>(2) SDの機会については、各大学等が自ら企画して設けるほか、関連団体等が実施する研修に職員が参加する機会を設けることなどが考えられること。</p> <p>「その他必要な取組」について</p> <p>SDを効果的・効率的に実施する観点から、各大学等において、その実情に応じ、例えば職員の研修の実施方針・計画を全学的に策定するなどの取組を行うことが期待されること。</p>

岡山学院大学人間生活学部食物栄養学科 FD ワークショップ評価書

評価員所属 九州情報大学・山口短期大学

氏 名 麻生隆史

平成 28 年 12 月 26 日の FD ワークショップは岡山学院大学岡山短期大学 FD(ファカルティ・ディベロプメント)委員会規程に従って十分な内容であったかまた三つの方針・学習成果・点検・評価の方法などの観点から率直な評価をお願いします。

総評

本年度の食物栄養学科の報告順に評価をした。

1. 授業改善C&Aシート

平成27年度は検討結果を報告されたが、平成28年度は授業アンケートと学習成果の獲得状況がより鮮明になっている。課題を鮮明にし、それに関する改善計画・行動計画を策定した結果、学習成果の獲得状況も向上しているようだ。これはスタートアップゼミでの復習への取り組みによるものであるが、その他の要因を多方面からより深く分析し、授業改善の取り組みを継続されることが望まれる。

2. 2年生の就学状況と対応

2年生への対応は、前提条件である隣地実習をいかにクリアさせるかということに力を入れている。まだ、取り組むべき課題もあると思われるので、よりいっそうの課題対応策を検討されたい。

3. 栄養長寿教室および地域訪問栄養長寿教室

平成26年度からルーブリックによる評価を行い、さらに実態に即したルーブリックの内容を検証されていることは評価できる。まだ課題も多いことを認識しているので、更なる改善を期待する。

4. 就業状況調査アンケート結果に基づく在学生への対応

学習成果の獲得状況の把握と学生指導に観点を絞って検証されている。学習成果に関するアンケートは高い評価を得られているようだ。ただ、質問項目や対象者の精査と在学時と卒業後の評価結果を客観的に測定できる手法を今後検討されたい。すなわちこれがディプロマポリシーの評価に繋がる。

岡山短期大学幼児教育学科 FD ワークショップ評価書

評価員所属 九州情報大学・山口短期大学

氏 名 麻生隆史

平成 28 年 12 月 26 日の FD ワークショップは岡山学院大学岡山短期大学 FD(ファカルティ・ディベロプメント)委員会規程に従って十分な内容であったかまた三つの方針・学習成果・点検・評価の方法などの観点から率直な評価をお願いします。

総評

本年度は、学科FDをPDCAサイクルによって実施している。

幼児教育学科の将来像を三つの方針を念頭においてより良い学科のあり方を検証している。また、エンロールメントサポートは明確である。

具体的には、

- 高大接続・入学前教育
- 学生支援による退学者0目標・授業改善
- 受験指導・就職先訪問

等を考慮したものであり、これらの充実が学科の強みを生かしたものとなるよう努力されている。

これらを充実させるための綿密な対応に関する諸課題も認識されているので、学科教育と学習成果獲得のためのより充実したPDCAサイクルを実施し継続されることが望まれる。

ただ、汎用的学習成果が低下していることに関しては、学科のみならず全学的取り組みとして、その改善策を検討されたい。

岡山学院大学・岡山短期大学事務部 SD ワークショップ評価書

評価員所属 九州情報大学・山口短期大学

氏 名 麻生隆史

平成 28 年 12 月 26 日の SD ワークショップは岡山学院大学岡山短期大学SD(スタッフ・ディベロプメント)委員会規程に従って十分な内容であったか一般的な SD として十分な内容であったか率直な評価をお願いします。

総評

SD活動は、三つの方針を念頭に置いてスタッフとして課題認識・改善計画・行動計画が明確である。

平成29年度からのSD活動の義務化に向けて、よりいっそうの内容充実が望まれる。

具体的には、

- 高大接続改革
- エンロールメントサポート
- オープンキャンパス実施
- オープンキャンパスの充実のための方策
- SD会議のあり方
- 入学前教育のサポート

等に関する内容が含まれており、さらにそれぞれが建学の精神を柱にしている着目点は良い。

今後、それらの課題認識と改善計画・行動計画についての内容をPDCAサイクルによって精査することで質の向上を目指すことが重要である。

より内容が充実したSD活動を継続的に実施されることを期待したい。